

◆ 9月12日 [土] 13:00 ~ 16:55

《開会行事／飯田歴研賞授賞式》

《基調講演》

山梨あや（慶應義塾大学）

「地域に根差した女性の学習
— 「読む」 営みを中心に —

《自由論題報告》

中山京子（元飯田市美術博物館専門研究員）

湯澤厚（湯沢雲揚堂）

羽田真也（飯田市歴史研究所）

第23回飯田市地域史研究集会

飯田下伊那の女性が 生きた近現代

2026年

9月12日 [土]・13日 [日]

飯田市役所 C棟3階会議室
（オンライン併用）

◆ 9月13日 [日] 09:30 ~ 15:00

《シンポジウム》

趣旨説明 = 伊藤悠（飯田市歴史研究所）

多和田真理子（國學院大学）

田中雅孝（飯田市歴史研究所）

岡田慶（元鼎婦人会会長）

清藤奈津子（山里文化研究所）

矢澤恵（飯田市立中央図書館）

全体討論・意見交換 | 司会 = 吉田ゆり子（東京外国語大学名誉教授）

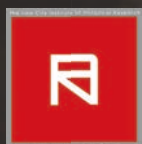
主催 飯田市歴史研究所

資料代 500円（2日間共通）

※ 高校生以下無料



▲参加申込はこちら



飯田市歴史研究所

〒395-0803 長野県飯田市鼎下山 538
TEL 0265-53-4670 FAX 0265-21-1173
E-Mail iih@city.iida.nagano.jp



画像／橋英雄氏寄贈史料（当研究所蔵）
飯伊婦人文庫資料

飯田下伊那の女性が 生きた近現代

会場案内



◆飯田へのアクセス

高速バス 各バス会社にて予約

(東京から) バスタ新宿 → 飯田駅前 4 時間
(名古屋から) 名鉄バスセンター → 飯田駅前 2 時間

自家用車 中央自動車道

(東京から) 八王子 IC → 飯田 IC 3 時間 30 分
(名古屋から) 名古屋 IC → 小牧 JCT → 飯田 IC 2 時間

鉄道 JR 飯田線

(豊橋から) 特急伊那路 2 時間 30 分
(辰野から) 2 時間

◆会場へのアクセス

飯田駅 → 会場 : 徒歩 10 分
飯田 IC → 会場 : 車で 15 分

参加方法

《事前申込制》

web フォーム (表面 QR コード)、または飯田市歴史研究所まで、電話・FAX・E メールでお申し込みください。

◆申込期間

8 月 1 日 (土) ~ 9 月 8 日 (火)

◆申込内容

氏名、電話番号、参加方法 (会場/オンライン)
※ オンライン受講は加えてメールアドレス、郵便番号、住所

関連展示

8 月 22 日 (土) ~ 9 月 24 日 (木)
(会場) 飯田市立中央図書館

飯田下伊那の地域は、女性たちの働きと学びによって支えられていました。家や村の中で、農作業、養蚕、家事などの仕事に携わり、明治に入ると教員や工場という新たな場の働き手として期待されていきました。戦後の民主化の中では、読書をはじめ多様な活動を通じて社会参加の機会を広げていきます。女性を取り巻く環境が節目を迎える今、近現代の大きな変化を生きてきた女性の姿に光を当てます。

9/12 [土] 13:00 ~ 16:55

《開会行事/飯田歴研賞授賞式》

《基調講演》 13:30 ~ 15:15

山梨あや (慶應義塾大学)

「地域に根差した女性の学習—「読む」営みを中心に—」

《自由論題報告》 15:25 ~ 16:55

中山京子 (元飯田市美術博物館専門研究員)

「飯田市内におけるたばこ倉の建築形式」

湯澤厚 (湯沢雲揚堂)

「座光寺に残された巨大地図の修復に携わって」

羽田真也 (飯田市歴史研究所)

「故郷清内路を遠く離れて—石州大森に暮らす姉からの書状—」

9/13 [日] 09:30 ~ 15:00

《シンポジウム》

趣旨説明=伊藤悠 (飯田市歴史研究所)

多和田真理子 (國學院大學)

「明治期の飯田下伊那における女性教員」

田中雅孝 (飯田市歴史研究所)

「戦間期・製糸業における女性労働と村社会」

岡田慶 (元鼎婦人会会長)

「地域のなかの鼎婦人会」

清藤奈津子 (山里文化研究所)

「昭和を生きた農山漁村女性が語ったこと

~山里の聞き書きから~」

矢澤恵 (飯田市立中央図書館)

「市民の学びや交流を支える図書館」

全体討論・意見交換 | 司会 = 吉田ゆり子 (東京外国語大学名誉教授)